

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 脳内シナプス密度とタウ沈着に関する認知症病態研究
	●研究の対象 2018年10月～2023年3月に心理検査（MMSE）、MRI検査、PET検査を受けられた方 60名（健常な方20名・患者の方40名）
	●研究の目的 これまでの認知症では脳のブドウ糖代謝をみる[18F]FDGを用いて、その脳代謝側面を評価する画像検索が行われてきました。現在はさらに認知症の病因物質であるアミロイドやタウなども可視化できるようになりました。認知症の脳では神経細胞が変性するときにタウが重要な役割を果たしていますが、同時に神経細胞と神経細胞を結ぶシナプスも変性しその数が低下することが死後脳解析で言われています。このタウの異常蓄積と神経シナプスの関係が認知症脳でどのようなになっているか詳細な検討はなされていません。認知症脳で生じている神経変性への病態解明につなげる研究をすることは、今後の治療を考える上で重要となります。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2026年3月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	共同研究機関へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。 共同研究機関への血液検体の提供は、冷凍保存のうえ専用便で送付し、研究期間終了後の所定の期間保存したのち破棄します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 試料：血液 情報：脳画像
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 生体機能イメージング研究室 尾内康臣 浜松光医学財団 浜松 PET 診断センター 西澤貞彦 静岡てんかん・神経医療センター 脳神経内科 小尾智一
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 生体機能イメージング研究室 尾内康臣
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 生体機能イメージング研究室 担当者： 尾内康臣 TEL： 053-435-2466 E-mail： ouchi@hama-med.ac.jp